

# HEROES

## CHAPTER 30

### セオリー

自分の特別な能力に気づいた直後、ピーター・ペトレリはヒロ・ナカムラと出会った。未来から来たという険しい表情のヒロは、ピーターに不可解なメッセージを伝えた。

「チアリーダーを救え。そして世界を救え。」

その後、ピーターは再びヒロと会うことになる。現在のヒロと初めて会うと、ヒロは、未来の彼とは正反対で、明るく楽天的な青年だった。この夢と希望に満ちた若者を大きく変えてしまった出来事とは？ ヒロはなぜピーター・ペトレリにメッセージを伝えたのだろうか？

ニューヨークシティ  
未来

あれから5年。

NYを吹き飛ばした爆発。  
あの惨劇の記念日前夜だった…。

危害を加えるつもりはない。  
パトカーに戻って、  
部下を引き上げさせろ。

わかった、  
言う通りにする…

自分の身を  
守るだけの毎日。

その夜も  
いつもと同じだった。

スバロー、  
外出禁止令が出てるんだ  
外出は禁止なんだぞ。

誰の命令よ？  
政府？

俺だ。  
さっさと帰れ。

悲しい現実  
は  
考えたくない。

だが俺たちは  
敗北に向かってた。

…すでに敗北している  
のかもしれない。





あの爆発以来、俺と同じ“特別な人間”たちは憎まれ、追われる立場になった。

それを変えたかった。変えなくてはならなかった。



その方法を探す仕事にとりかかった…いつもの夜のように。



“糸”の作業に取り掛かった。

# String Theory

JOE POKASKI  
Story  
STAZ JOHNSON  
Pencils

EDGAR  
AT STUDIO F  
Digital Inks  
& Colors  
COMICRAFT  
Lettering

An  
INVISIBLE COLLEGE  
Production



時空を操作しはじめてから5年。ようやく分かい始めた。

時とは、1本の線や1枚の布ではない。様々な人生が織り交ぜられてできあがっている。



もちろん、“サイラー”が鍵だ。奴こそが“爆弾”なのだから。

爆発する前のあいつを俺は刺した。ところが、奴は“再生”した。



奴がチアリーダーを、クリア・ベネットを殺したからできたことだ。



つまり、世界を救うためには、あの時代の誰かがチアリーダーを救わなければならない。

確実に果たしてくれる人物…

ピーター・ベトレイだ。







おまえは。

僕？

しかし、疑問は  
増すばかりだった...